

2014.1.29  
秋葉区役所

# 秋葉区

秋葉区自治協議会まちづくりワークショップのまとめ

新潟市秋葉区自治協議会

まとめ：特定非営利活動法人まちづくり学校

## 秋葉区自治協議会まちづくりワークショップ

### 実施概要



日時：2014年1月29日(水) 15:30~17:00

会場：秋葉区役所 6階 601・602 会議室

主催：秋葉区地域課、政策調整課

コーディネート：NPO 法人 まちづくり学校  
大滝聡、安田文子

### 当日のプログラム

時間	内容
15:30	オープニング(主催者挨拶)
15:35	区ビジョン点検シートの説明
15:45	ワークショップの手順説明
15:50	質疑応答
15:55	グループ内での各取り組み評価と今後に向けた意見
16:20	目標についての意見整理
16:35	今後の方向性について意見整理
16:50	全体確認
17:00	終了

### 当日のワークショップ風景



# I 豊かな自然環境の保全と活用

A グループ：板橋育夫、中村信也、木村一夫、荏原富士子、土田美津子、鈴木熊雄

## 目標の改善案

### (修正案) 豊かな自然環境の活用と発信

※保全があって活用がある。保全はあえて目標に掲げなくとも当然のこと。活用をさらに積極的に行うためにも、これまで魅力発信が少なかったことから、目標に「発信」掲げ、積極的な情報発信による活用を広げていきたい。

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

#### 森林機能の保全、市民の憩いの場の整備、ボランティア団体育成・支援

○各種ボランティア活動が知られるようになり、相談機関として機能している。

○市民憩いの場所を知らない人が多い。  
○秋葉公園の見晴らしが悪い。標示板や案内板が壊れていたり整備が良くない。

### マイナスの評価

### 今後の取り組みとして

- 地図の作成を。
- 桜の名所を増やす。憩いの場を作る。(Cグループからの意見)

#### 阿賀野川フェスティバルの開催、新津川遊歩道整備、区内外へ魅力発信

○新津川遊歩道は、能代分流公園までの間に休憩のためのベンチ・トイレ(簡易)がない。  
○新津川の遊歩道の街灯が消えたまま、いつまでも放置されている。アフターケアをしっかりとやってほしい。  
○フェスティバルがマンネリ化しているのではないか。(目玉がない)  
○小須戸地区の住民との接点がなく、取り組みが伝わらなかった。  
○観光やレクリエーションについて、定例時にイベントを実施していないように思う。

### 今後の取り組みとして

- 新津の遊歩道にヶ所のベンチとトイレ(水を使わないバイオトイレ)を設置してほしい。
- 秋葉区は信濃川、阿賀野川など大河に囲まれている。輪中の街として発信を!

#### 下水道処理開始区域拡大、原油湧出対策、新ごみ制度への移行による環境保全

○原油湧出対策、全国的にPRができた。良くも悪くも。  
○下水道が完備されてよかった。負担金が安かった。

○原油湧出対策に対し、全国ニュースで取り上げられる時点で対応に問題あり。

### 今後の取り組みとして

- 石油の湧出がすぐに見学できるのは日本で秋葉だけ。大きく宣伝し活用すべきだ。

# II 歴史と個性を活かす

A グループ：板橋育夫、中村信也、木村一夫、荏原富士子、土田美津子、鈴木熊雄

## 目標の改善案

(修正案) 変更の必要なし

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

### マイナスの評価

歴史文化保存・伝承、石油の里公園の振興、鉄道資料館の充実、古津八幡山遺跡整備

<ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道資料館の存在が注目視されるようになり、進展に結びついた。</li> <li>○古津八幡山の研究発掘が行われたのは素晴らしい。</li> <li>○円墳の復元をめざす計画があるのは嬉しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道資料館の道案内が不足。</li> <li>○鉄道資料館の充実がなされなかった</li> <li>○市民にPRが不足している。</li> <li>○地区の文化財の情報発信が不足ではないか。</li> </ul>
--	--

### 今後の取り組みとして

- 秋葉山の道路にあるガードレールは、風景に合わせたものに。
- 伝統文化の保存は、地域によってはまだある。区民より原点にかえり見直しが必要。
- 次世代につなぐイベントや人材育成を。
- 歴史、再発掘を多くの人で行う。
- 鉄道資料館を外来者にわかりやすくし、さらなる充実を今後の計画に組み込んでほしい。

## 地域固有の優れた資源の活用と情報発信

<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域固有の資源の活用と情報発信はわかりやすかった。</li> <li>○各種イベントが行われ、市民はもとより市外の方の多数が来られて非常に良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新津駅、古津駅、矢代田駅に、大きな秋葉区紹介の看板がない。</li> <li>○明治維新の古戦場など、多くの市民に知らせる取り組みが弱い。</li> <li>○地域の資源や歴史について区民がよく知らない。</li> </ul>
---	---

### 今後の取り組みとして

- 子供たちが誇りに思える地域の「個性」を知る教室。
- われらの大地に数万年にわたって生きてきた歴史を生かす。
- 県立植物園、新津美術館をもっとPRを。(Dグループより意見)
- その地域に行くとき誰でもわかる地図・マップの作成(具体的に)。
- 発表の場が必要。

## 今後の方向性について

- 信濃川、阿賀野川、大河の良さを活かした街づくり。
- 人口減社会に対応した政策を！
- 安心して子どもを産み、育てられる街に。

# III 市民活動の支援

B グループ：中津清吉、渡辺和典、田村由美子、伊藤敏秋、楠田久美子、嶋倉和子

## 目標の改善案

(修正案) にぎわいのある市民活動への創造

※「にぎわい、いきいき交流」と「自発的活動を誘う創造」を統合した。

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

### マイナスの評価

### 文化スポーツ施設整備

<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化会館で行った講演会は大変よかった。</li> <li>○近くに出来た文化会館・体育館はとてもよかった。積極的に利用したい。</li> <li>○文化会館、統合体育館のオープン講演会 OK。</li> <li>○文化会館等の整備がなされ、区民の希望の灯が見えてきた。</li> <li>○文化会館がオープンして文化意識が高まった。</li> <li>○ライフスタイルに合った施設の利用が可能となった。</li> <li>○同好会的な人とのつながりができただろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化会館・体育館の使用料金が高め？</li> <li>○施設が出来たが利用率はどうなのかな。</li> <li>○建物は建ったが、PR 不足か近くに一度も入ったことのない人も大勢いる、「会館だより」など回覧したら。</li> <li>○文化会館の規模(席数・部屋)が小さかった。</li> </ul>
---	--

### 今後の取り組みとして

- 子どもを育てるため、文化会館・体育館で教育的なイベントを多くしたい。
- 利用者がさらに増加するようでありたい。(利用率)

### スポーツの振興

<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種スポーツでよい成績が出ている。</li> <li>○退職後の居場所ができ、充実して日々を過ごせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種スポーツの振興の成果、様子があまり伝わってこなかった。</li> </ul>
--	--

### 各団体等と連携した地域課題解決への取り組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>○各コミ協とも意欲的に取り組んでいた。</li> <li>○自治協に参加して市の動きをよく知ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミ協と公民館事業の連携がない。</li> <li>○コミ協の活動の様子が見えない。</li> <li>○他のコミ協のしていることが見えない。コミ協・自治会などの交流が少ない。</li> <li>○自治協では聞くだけで、区の課題について委員同士で話し合いが出来ていない。</li> <li>○役員を選出、自治会の任期の問題。</li> </ul>
--	---

### 今後の取り組みとして

- コミ協・自治協など連携していく必要がある。

これまでの取り組み評価	
プラスの評価	マイナスの評価
<b>コミュニティセンターの整備</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミセンの拠点ができ、地域住民が利用しやすくなった。</li> <li>○コミセンの活動をがんばっていた。</li> <li>○コミセンの整備が進められ、活動の拠点ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新津本町コミセンが十分に活用されていない。(西部コミ協)</li> <li>○地域交流センターの駐車場が狭い。遠くて不便。</li> </ul>
<b>結・市之瀬小学校の再編・改築、小中学校整備の計画的実施</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○荻川小の教育環境が整った。</li> <li>○金津小学校がとてもきれいになった。</li> </ul>	
<b>学校と社会教育施設、地域活動を結ぶネットワークづくり</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域教育コーディネーターの活動はとてもよい。</li> <li>○コミ協、学校との連絡がうまくいくようになった。</li> <li>○地域教育コーディネーターがいることで、地域で子どもを育てる意識が強くなった。</li> <li>○地域教育コーディネーターは連携が大変よい。</li> <li>○広報紙によって学校の様子を伺うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域教育コーディネーターの活動で学校からの要望は伝わるが、地域の要望を学校に伝える術がないように思う。</li> </ul>

# IV 便利で快適なくらし

C グループ：赤塚功、白井日出夫、五十嵐彌、富井智子、星野茂夫、曾我睦子

## 目標の改善案

### (修正案) 便利で快適なバカ良い暮らし

\*他に出された意見：詳細が分かれば目標はいつでもいい。「安心で暮らしやすい」、「より」「さらに」「もうちょっと」「健全」「健やか」「より安全な」「ぼっかいいてといえるまちづくり」「がんばれ秋葉区！」というフレーズを入れる。

## これまでの取り組み評価

プラスの評価	マイナスの評価
--------	---------

### 交流の視点からのまちづくり推進

<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域交流センターの建設でいろいろなサークルの使用が可能になった。</li> <li>○地域交流センター、文化会館、体育館ができた。</li> <li>○文化や体育施設が誕生し、利用率も高められている。</li> <li>○新津駅周辺の美化(環境)は住民のニーズに応じた形態が生まれつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「新津駅周辺の人の交流視点を推進した」の実感がな</li> <li>い。</li> <li>○箱物ばかり作って、そこまで利用するのか。</li> <li>○地域交流センター近くに駐車場がない。あっても有</li> <li>料。</li> </ul>
--	--

### 今後の取り組みとして

- 商店連が十分な検討を加え、イベントや併合した商店のあり方を検討する。

### 公共交通の利便性の向上

<ul style="list-style-type: none"> <li>○〈社会実験などにより〉公共タクシーの利便性は高められたが、地域住民への浸透が今一步。</li> </ul>	
---	--

### 今後の取り組みとして

- 大学バスに市民も乗せる。より交流が深まる。
- 文化や体育施設への交通アクセスの一貫性の要検討。
- 公共交通の不便さの実態調査。交通量にあった道路整備。

### 地域間交通体系の充実

<ul style="list-style-type: none"> <li>○川口ICができて便利。</li> <li>○交差点をカラー舗装してもらった。安全性が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通量が多いところに消雪パイプがない。雪があると車がすれ違いできない。</li> <li>○川口ICできたが、上り(会津方面)の入口がない。</li> </ul>
--	---

### 今後の取り組みとして

- 自転車の安全ロード化を進める。通学路のより安全を確保する。
- 区内交通量の調査とそれに伴った対策が必要。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

安心安全なまちづくりの推進

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者に防災グッズが配られた。</li> <li>○避難ガイドブックができて避難所が確認しやすくなった。</li> <li>○防災活動を一生懸命の地域が多い。</li> <li>○学校施設の耐震化を図ったこと。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○避難ガイドブックの周知が足りない。存在を知らない人が多い。</li> <li>○地域的に災害に対する認識が弱い。</li> <li>○安全防災のまちに向け、避難経路が周知されているか。</li> </ul> |
|--|---|

今後の取り組みとして

- 避難ガイドブックの徹底を図る。
- 防災訓練を実施する自治会を多くする。(現在は自治会の 50%)
- コミ協とのタイアップと情報伝達の方法を検討する。
- 災害用公衆電話を増やす。(D グループより意見)

地域で支え合う福祉・保健の充実

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい者対策。小須戸地区で、ほほえみ学園で皆で作業している姿、楽しそう。</li> <li>○健康増進の予防対策(生きがい予防)が各地で行われた。</li> <li>○高齢者支援組織や関心が高められた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者支援が一部の人の負担となっている。</li> <li>○老々介護が多くなる状況がある中、悩みを出せる場所があった方が良い。</li> <li>○子育て支援として、小中学校の行事に対する金銭的な支援が少ない。</li> <li>○秋葉区に産科がない。(Aグループより意見)</li> </ul> |
|--|---|

今後の取り組みとして

- 健康づくりを進めるまちづくりを具体化する。
- 長寿を後押しする区ビジョン作りを行う。
- 高齢者が高い秋葉区、安い高齢者住宅を考えてもらいたい。
- 安心して子どもを産み育てられるまちに。(Aグループより意見)
- 県立植物園に子どもが遊べる場を。(D グループより意見)

窓口サービス、市営住宅建替え、図書館の改築等

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○市営住宅の整備が整った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○区役所の窓口は本当にワンストップか？区役所で用が足りることでも包括支援センターにまわされることが多い。</li> </ul> |
|---|--|

今後の方向性について

- 7つもある駅を中心に交通と住居を結び付ける。特に老後の住家。(D グループからの意見)



# V 新たな可能性づくり

D グループ：木伏正子、新藤幸生、小柴美樹、松澤豊枝、樋口栄子

## 目標の改善案

(修正案) 変更の必要なし

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

### マイナスの評価

## 商工業の活性化

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○あおぞら市場は普通の商店街にはない活気があった。</li> <li>○小須戸町屋はカフェもでき、区外の方も足を運んでいる。</li> <li>○歩行者天国のように通行止めをして行ったイベントは、人が多く出て良かった。</li> <li>○イベントが定着し、広く秋葉区が認知されてきた。</li> <li>○他区がモデルにしているようだ。</li> <li>○新津駅に鉄道資料館サテライトがある。駅に行けば何かあるまちにできないか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○商店街の空き店舗はなかなか後に続く人がいなく、シャッター通りとなっている。</li> <li>○駅前の商店街がさみしい。学習塾があるので、子どもたちの居場所になるところがあっても良いのでは。</li> <li>○駅前商店街のアーケードが無くなり、とても不便。</li> <li>○あおぞら市場は、近年フリーマーケット出店者が多く見受けられた。他の商品、野菜等、食品の市場的なものが欲しい。</li> </ul> |
|--|---|

## 今後の取り組みとして

- イベントが定着した分、新しい要素を加えてもいいのではないか。
- イベントが定着しているのであれば、区外への広報を強めてもよいのでは？
- イベント開催時の集合場所。特に駐車場の明確化。 / ○商店街の駐車場の確保が必要。
- 空き店舗の対策が継続して必要。 / ○駅前にSLなどの列車を置く。
- FMにいつを有効利用。タイムリーに実況中継。 / ○新津市の市は160年の歴史がある。街発展の基礎となるものだから大切にしてほしい。(Aグループより意見)

## 農業の振興

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○花のまちとして良く、新聞やテレビなどで見聞きするので良い。</li> <li>○学校給食はパンと思っていたが、今ご飯がほとんどで良い。</li> <li>○区役所、JAと一緒にはさ並木で田植え、はさかけを行った。区外からの参加も多く、新米は学校給食に提供して良かった。</li> <li>○農家の手助けとして、うでこきのうららこすずで野菜を直販し、遠方からの買物で売上が伸びた。(Cグループからの意見)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○花卉、花木のPRがまだ足りない。区内の街路樹等にも利用すべき。</li> <li>○PR、ホームページのアクセスで石油の里等が良く出て来るが、花に関するもののアクセスが少ない。</li> </ul> |
|--|---|

## 今後の取り組みとして

- 花卉、花木の街をおしゃれにPRできたら、もっと秋葉区を知ってもらえるのでは。

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

### マイナスの評価

#### 産学官・地域による産業の活性化

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| ○薬科大がまちなかに出て来る。どのくらいの人数がどのような活動をするのか。 | ○バイオリサーチセンターの認知度が低い。ブルボンなど、特保のための研究をしている。<br>○薬科大と地域の交流が少ない。 |
|---------------------------------------|--|

#### 今後の取り組みとして

- 産、学、農、商の共同で秋葉区の商品開発を目指したい。例えば、プチパール等に替わるもの。

#### 今後の方向性について

- 若者や子どもたちが楽しく安全に暮らせる区(まち)にするために、企業・働く場があれば住むかと思う。

## 区の将来像に対する意見

---

- 花と緑と鉄道が走る夢のあるまち。(Bグループ)
- 花と緑に囲まれた、みんなで住みやすい、おしゃれなまち。(Dグループ)

## 目指す区の姿に対する意見

---

- 夢のあるまち、鉄道、石油、花と緑、うるおい、丘陵、里山。(Bグループ)
  - 秋葉区に生まれて良かったと思うまち。(Cグループ)
  - 文化とスポーツのかおり高い区。(Cグループ)
  - 川と山と緑のあきは(Cグループ)
  - あんしん、きれい、はりきる区民(Cグループ)
  - 鉄道の街(Dグループ)
-